

## 特別支援学校を粕屋町に誘致することを要望する決議

福岡県は、知的障害のある児童や生徒が通う特別支援学校を今後 10 年間で 3 校新設することを表明しました。知的障害のある子どもを受け入れる特別支援学校の児童、生徒数は 2006 年度の 1,405 人から、2015 年度には、約 1.5 倍の 2,101 人に増加しています。児童、生徒数は今後 10 年で 3 割増加すると推計していますが福岡地区では 6 割以上の増加を見込んでいます。県は、今後の方向性として新設の必要な地域を 3 つ挙げました。1 つには、古賀特別支援学校（糟屋地区、宗像地区、遠賀郡）の通学区域。2 つには、糸島市または、近隣地域を区域とする地域、3 つには、太宰府特別支援学校（筑紫地区）の通学区域です。糸島市域については、保護者の要望もあり決定しているようですが残る 2 校については、福岡市東部近郊を想定しているようです。

粕屋町の県立古賀特別支援学校に通う児童、生徒は 44 名で、全体の 12.3% に及びます。町内各学校の特別支援学級の児童、生徒数は年々増加するばかりで平成 28 年 10 月 1 日付の 4 小学校で 190 名、2 中学校で 36 名（うち知的障害と肢体不自由 151 名、情緒障害 75 名）にもなります。

こうした現状から、粕屋町における今後の特別支援教育を考えれば、粕屋町内に施設設置が必要不可欠と考えます。これまでの県の特別支援学校の地域区分から考えると、交通の利便性や位置などから粕屋町が最適と思われます。よって、粕屋町地内に県立特別支援学校を誘致することを要望するものです。

以上、決議する。

平成 28 年（2016 年）12 月 16 日

粕屋町議会